

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 新川崎教室

保護者等数(児童数)37 回収数 25 割合 67.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2	1	2	・活動の様子を見る機会が無い為。 ・天井が高いので開放感がありお気に入りです。 ・見学に行けていないので	安全性を最重視の上確保していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1		3	・ベテランの先生が辞めて不安がありましたが、先生方の一生懸命さが変わらず今は安心してます。 ・長くお勤めの先生も多く、子供の理解もあり、対応も優れているので信頼できる。	職員のスキルアップのための研修を増やしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16		2	7	・ビル2階までの階段がやや暗く部屋の中は段差は少ない印象です。	簡易設置型の証明を取り付けの事を検討し、導入していくことになりました。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	1			・子どもの特性に合わせたプランを作って頂けていると思います。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22			3	・毎回プログラムが偏らないよう考えてくださり、季節によってもイベントを取り入れてくださっていると思います。ただ、自宅では思うように外出できないこともあり、動画を見ることも多いので、外での活動、散歩や公園などを多く取り入れてほしいです。	毎月プログラム会議を開き広く意見を募っていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	6	10	・あまり求めています、機会があれば良いと思います。 ・たぶんないと思う。	交流について、どのような方法があるか検討していきます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25				・LINEなどを通じて日々の子どもの様子も伝達し合っていると思います。	今後も更にSNSの活用を進めていきたいと思っています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1	1		・助言にいつも助けられています。 ・面談という形でなどもLINEなどでやり取りできるのが良い。	・半 緊急や臨時の面談にも応じているが、その点の周知が不足している事がわかりました。今後は周知を増やしていきたいと思っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	12	3	・保護者間の繋がりは求めているので現状がちょうど良いです。 ・自閉症の保護者と情報交換したい。特に高学年～中学生、生活状況や成長過程等様子が知りたい(先の情報を知ること安心感がほしい、心構えをしておきたい)	コロナ禍で延期になっていたが、今年からは様子を見て再開したい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20			5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25				・送迎時、ほぼ変わらず様子を簡単にでも伝えてくれるのは嬉しいです。	送迎時の情報共有は今後も積極的に行っていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1			・HUGを利用して、各月の状況を見ることができるのは良いと思います。	特にSNS媒体を更に活用していく事とした。
14 個人情報に十分注意しているか	21	2		2			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22			3		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18			7		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	25				・休みを悔しがらない楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・通所の様子を時々LINEで写真を送ってくださるのが楽しみ、本人も毎日のように行きたいと言っています。 ・送迎だけでなく、日々の関わりも大変だと思いますが、こういった事業所があることを感謝しております。 ・毎回通所を楽しみにしている。	ご期待に沿えるように今後もがんばります。。
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1			・こぼんに通っていただけたらと思うとおそろしいです。心から感謝と満足です。	今後も保護者の方に満足いただけるよう、努力していきます。

367 16 22 45

82%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら ○○教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	1		・児童、放デイで部屋を分けるのではなく、各自の能力で分けてみては？
	2 職員の配置数は適切である	11	4		・曜日によって職員の数が不足している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	5		・建物の階段や作りが子どもにとって歩きやすい空間ではないと思う
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	4		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	・ブログ、こぼんだよりなどで月に1回は保護者に様子を提示している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	1	全職員に対して虐待防止動画の視聴を、社員に対しては、半年以内に8時間の研修義務をそれぞれ設けている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13		半年に一度の面談を義務とし、それ以外でも親御さんの状況に応じて臨時で面談を行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	12	1	毎月一度、プログラム会議を開き、広く職員からアイデアを募っている	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	2	・プログラム会議を行い、子供も職員もマンネリ化しないようにしている ・平日の午前中は、公園やお散歩など時間つぶしに感じられる	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	3		・「今日は○○を重点的に考えたプログラム」など職員がどこに着目して支援すればよいか分かりやすい目標を事前に知っていることより良い支援になるのではないかと
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	2		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	1		・やる時もあれば、必ずとは言えない。業務として組み込むべきだと思う
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	5	・少しでも共有すべきことは共有LINEグループを使って共有している ・時間があった際情報共有は行っている	・送迎が遅くなることもあり、全員ではできていないスタッフ間で個々に話すことはあるが、必ずとは言えない
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	日報の他支援ソフトを用いて細かい情報の記録を行っている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1	半年に一度は必ずモニタリング、それ以外にも支援が必要と判断されれば遅滞なくモニタリングを行っている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2		
	関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13	1	送迎者は、学校の担任教諭などと毎回送迎時に情報の共有を行っている。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8	2		
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		9	1		現在、そのような状況は発生していないが、そのような必要があれば連携はとれるようになっている。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7	3		・今後提供できるように考えたい・ケースが無い
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8	2		
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	10		
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	5		
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		12	2		・送迎やLINEの会話の中で子供の話を少しでもするようにする
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		10	3		今後はそのようなイベント企画も立案していきたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13		そのような要望があった時は、迅速に面談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	8		・できていないため、保護者参加イベントや保護者会を開催したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14			
	35	個人情報に十分注意している	13			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	2	火災訓練、震災訓練、洪水時避難訓練を行っている	・避難経路に物を置かない ・備蓄の確認を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	1	・全体で虐待防止についてミーティングを年1回行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15			